

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	文化芸術の振興	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-03-01		氏名	末長章彦
				電話	64-1841

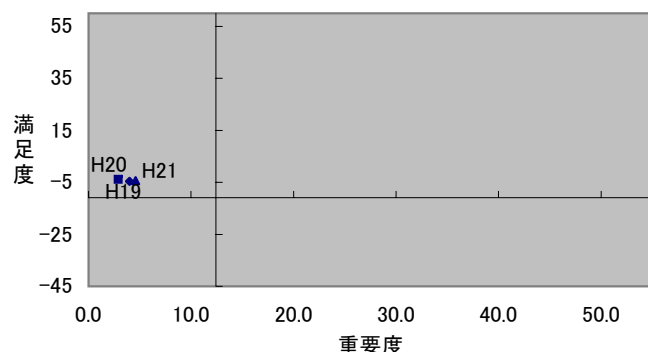
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	歴史・文化に興味のある人、関心のある人のために、企画展や講座などを開催し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供する。それにより歴史や文化への認識を高め、心豊かな人間性を育む。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	コストの削減等に伴い、職員が配置されていない館があるなど、来館者にとって満足のいく企画展や講座が難しくなっている。常設展示等の見直しや魅力ある企画展のため、より一層の創意工夫がもとめられている。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術活動の推進</li> <li>文化施設の適正な管理運営</li> </ul>

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	4.0	2.9	4.6	
満足度(%)	-4.6	-3.9	-4.4	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>
平均		
	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p>&lt;強化領域&gt; 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	平成20年5月から備前市歴史民俗資料館と加子浦歴史文化館の休館日を週1日増やしたところ、利用者からの不満の声が上がり、市議会委員会や文化財保護審議会からも文化行政の衰退だと憂慮された。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 歴史民俗資料館	目標	人	2,000	2,000	2,500	H21	2,500
	実績	人	2,217	2,561	2,372	H23	2,500
	達成率	%	110.9	128.1	94.9	H28	2,500
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 加子浦歴史文化館	目標	人	3,000	3,000	3,400	H21	3,500
	実績	人	3,438	3,509	3,012	H23	3,500
	達成率	%	114.6	117.0	88.6	H28	3,500
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 吉永美術館	目標	人	1,000	1,000	1,100	H21	1,000
	実績	人	800	1,000	645	H23	1,000
	達成率	%	80.0	100.0	58.6	H28	1,000
	ベンチマーク					-	-
参考指標③ 吹奏楽フェスティバル参加団体数	目標	団	9	9	9	H21	9
	実績	団	9	9	9	H23	9
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	H28	9
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース		
				平成18年度			平成19年度			平成20年度							
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数					
1	文化活動推進事業	B	備前吹奏楽フェスティバル事業	単市	123	1,300	0.15	136	850	0.12	109	473	0.06	☆☆	その他	109	
			国民文化祭準備事業	補助							201	1,563	0.22	☆☆☆☆☆	計画事業	1,022	
2	歴史民俗資料館管理運営事業	B	歴史民俗資料館管理運営事業	単市	5,041	4,340	1.10	8,982	770	0.11	9,049	496	0.07	☆☆☆☆	その他	14,243	
3	加子浦歴史文化館管理運営事業	B	加子浦歴史文化館管理運営事業	単市	5,776	4,560	0.75	4,906	5,277	0.91	4,216	5,820	0.98	☆☆☆☆	その他	5,738	
4	吉永美術館管理運営事業	D	吉永美術館管理運営事業	単市	1,095	665	0.10	1,046	526	0.09	808	567	0.07	☆☆	その他	990	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)					平成18年度	平成19年度	平成20年度									計	
					12,035	10,865	2.10	15,070	7,423	1.23	14,383	8,919	1.40				22,102

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国民文化祭備前市実行委員会	国文祭実施方針、実行体制づくり	文化協会他市内の団体との調整をし、平成22年国文祭を盛会に実施する

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	文化施設では歴史資料調査員の協力の下、企画展等を開催しており、入館者数は上昇基調にあった。しかしながら平成20年度は開館日を減じたため、入館者数は低迷した。	3	地域文化の成り立ちの証明と紹介は、市民の原点の検証であり市の関与は妥当性がある。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	2	吉永美術館の運営について検討していく必要がある。	2	同左
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	22年度の国民文化祭は一過性のイベントに終わらせない工夫が必要。文化施設は様々な企画により、市民を来館させ、文化に触れる喜びを実感してもらうことが必要である。	3	3施設とも来館者数は目標値を下回っている。2施設は、企画展の開催もあり、今後の創意工夫も待たれるが、1施設についての運営を検討すべきである。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)			同左	
二次評価者コメント	役職 教育次長 氏名 竹中 史朗		基本施策への貢献度	翌年度予算の 方向性
			3中立	平均的な配分